

防災シリーズ No.2

災害から身を守るために地震・津波避難地図 (ハザードマップ)を活用しましょう

問い合わせ 総務課 ☎2119

今年の3月14日未明の伊予灘を震源とする地震により、本市でも震度5弱の強い揺れが発生しています。



巨大地震や津波による災害に備え、皆さんに迅速な避難行動をとってもらえるよう市では、「地震避難地図」と「津波避難地図」を作成しました。

この2種類の避難地図は、本紙と併せて全戸配布しています。目に付くところに保管し、いつでも活用できるように

しておきましょう。また、避難地図は市ホームページでも公開しています。

この避難地図で避難場所の位置や災害時の危険な場所などの情報を確認し、いざというときに皆さんがとるべき行動や事前の対策などに活用してください。

「地震避難地図」とは

地震の発生によって想定される被害や避難場所の位置などの情報を表示した地図です。想定した地震に対して、地域の揺れの大きさを示す「震度分布図」と、その揺れによる建物被害の危険度を示す「地域の建物全壊危険度マップ」、地震発生時の避難方法なども掲載しています。

(1) 想定する地震

この避難地図では、2つの地震を大きく扱っています。

① 南海トラフ巨大地震

南海トラフは、九州沖から駿河湾へ至る太平洋沖に存在する深い溝であり、約100年から200年の間隔で大地震が発生しています。南海トラフを震源とした昭和東南海地震や昭和南海地震から約70年経過しており、日本列島の広い範囲に強い揺れと大きな津波による災害を引き起こすことが懸念されています。

② 安芸灘断層群(広島湾・岩国沖)の地震

安芸灘断層群は、江田島市沖から岩国市沖に分布する主部と広島市沖から岩国市の陸域にかけて分布する広島湾・岩国沖断層帯の2つに区分されています。

(2) 震度分布図

揺れを地図に示したもので、本市では震度5弱から6強の揺れが予測されています。

(3) 地域の建物全壊危険度マップ

揺れで建物が倒壊する可能性を推計し、地図上に示したものです。

湯舟・玖波4丁目地区合同防災訓練が実施されました

3月16日、湯舟町自治会と玖波4丁目自主防災会が合同で防災訓練を実施しました。

この訓練は、震度6の大地震が発生したことを想定し、大竹警察署や地元消防団、



避難行動の様子



消火器操作訓練

民生委員なども参加して、避難行動要支援者の安否確認や地区住民の避難訓練を実施しました。

避難完了後に、消火訓練や炊き出し訓練も実施されました。

では、地震の発生から26分後に沿岸部に影響が開始、3時間39分後に最大の津波が到達すると想定されています。

「津波避難地図」とは

津波が発生した場合に想定される浸水域や浸水深、また避難場所の位置などを表示した地図です。地震や津波によって堤防が破壊されるなどして機能しない場合と機能する場合のそれぞれに応じた浸水の想定を掲載しています。

想定する津波

昨年3月に県が公表した「広島県津波浸水想定図」に基づき、潮位が年間で最も高い時に最大クラスの津波が発生するという悪条件の下で想定される浸水の区域と浸

水深を表しています。本市の最高津波水位は3・4mと想定されています。

最大クラスの津波をもたらす地震として、県では、南海トラフ巨大地震や安芸灘断層群(広島湾・岩国沖断層帯)など6つのケースを想定し、それぞれのケースのシミュレーション結果を重ね合わせて、最大となる浸水区域と浸水深を示しています。

なお、最高津波水位とは、潮位が年間で最も高い時(約2m)に発生した津波高としており、実質的な海面上昇は約1・4mとなります。

また、本市に最大の影響をもたらす南海トラフ巨大地震

地震・津波による本市の建物被害の想定結果

		南海トラフ 巨大地震	安芸灘断層群 (広島湾～岩国断層帯)
建物被害	全壊棟数	1,622棟	1,429棟
	半壊棟数	4,271棟	3,675棟
	合計	5,893棟	5,104棟

資料:広島県地震被害想定調査報告書(平成25年10月)より抜粋

避難地図を活用しよう

心の準備をする間もなく突然発生する巨大地震の被害を最小限にするためには、日頃から家族や地域で、いざというときの緊急連絡先や最寄りの避難場所、家族の集合場所、避難するときの心がけなどについて話し合い、確認しておくことがとても重要です。

避難地図には、地震が発生したときの行動の指針になる情報や、その他いざというときに災害から身を守るために役に立つ情報も多く掲載しています。地震や津波について正しく理解するとともに、家族や地域で話し合った内容や、地域で得た情報を、避難地図に実際に書き込むことによって、あなたと家族にとって、使いやすいものにしていきましょう。

避難場所について

市の避難場所の見直しを実施しました。避難場所の位置はお手元の避難地図をご確認ください。

また、市ホームページでも一覧表を公開しています。

自発的に情報を入手して

被害の軽減を図りましょう

地震や津波に関する情報は、テレビやラジオ、またインターネットなどを通じて入手することが可能です。

また、緊急地震速報は、防災行政無線から自動的に放送されますが、携帯電話からのエリアメール・緊急速報メールなどからも手に入れることができます。

日頃から、防災情報の入手方法について確認しておき、早めの避難ができるよう心がけましょう。情報を待つのではなく、自発的に収集する姿勢が、迅速な避難行動を可能にし、被害の軽減につながります。

※ 情報の入手方法は、「地震避難地図」、「津波避難地図」に掲載していますので、ご確認ください。